

中学校 第1学年	題材名	曲の特徴を生かして表現を工夫しよう「カリブ 夢の旅」		
	教材名	「カリブ 夢の旅」(作詞：平野祐香里 作曲：橋本祥路)	時間	5 時間

■題材の目標

「カリブ 夢の旅」の歌詞の内容や曲想に関心を持ち、言葉のリズムや強弱・速度の変化を知覚することによって、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら音楽表現を創意工夫し、必要な技能を身に付けて歌う。また、全体の響きや各パートの音を聴きながら自身のパートの役割を感じ取り、美しいハーモニーの合唱に仕上げることを目指す。

■学習指導要領との関連

A 表現 (1) 歌唱 ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。

イ (7) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり

ウ (7) 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能

(イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能

【共通事項】速度、強弱、リズム、形式、構成

■ヤマハデジタル音楽教材「合唱練習 vol.3」を使用した指導計画 (5 時間)

		主な学習内容	めあて	配布資料
第 一 次	第 一 時	■「カリブ 夢の旅」を聴いて曲の特徴を感じ取る。	「カリブ 夢の旅」の曲の特徴を感じ取る	ワークシート1
	第 二 時	■「気持ちを声に乗せて歌う」歌唱方法を学習する。 ■「カリブ 夢の旅」の前半をパート練習する。	リズムや強弱を意識しながら曲の前半を練習しよう	ワークシート1
第 二 次	第 三 時	■「フォルテ」の声の出し方について学習する。 ■「カリブ 夢の旅」の後半をパート練習する。	「フォルテ」の声の出し方を意識して、曲の後半を練習しよう	ワークシート1
	第 四 時	■互いのパートを意識し、曲全体の表現を工夫する。 ■「カリブ 夢の旅」を通して全体合唱する。	曲想にあった表現を工夫しながら、全体を通して合唱しよう	ワークシート2
第 三 次	第 五 時	■曲を仕上げ、全体で合唱をする。	曲の構成を意識して、合唱を仕上げよう	ワークシート2

■実際の指導

【教材】 「カリブ 夢の旅」(作詞：平野祐香里 作曲：橋本祥路)

【授業スタイル】 一斉学習、グループ学習(パート練習)

【使用する ICT 機器】 ヤマハデジタル音楽教材「合唱練習 vol.3」、大型モニター、
タブレット端末(もしくはPC)を各パート1台ずつ、スピーカー

【主な ICT 活用とそのねらい】

- ✓ デジタル教材を使用することにより、生徒が自分たちでパート練習を実施することができるため、教師が各パートを回って指導したり評価したりすることができる。
- ✓ デジタル教材を使用することにより、テンポ変更や AB リピートを使った部分練習が容易となるため、自分たちの苦手な部分を集中して練習することができ、どのような練習をすべきか生徒が主体的に考えて取り組むことが可能になる。

【展開】 ※第二次のパート練習の2時間（第二時と第三時）のみ。

第二時

- ・学習内容：「気持ちを声に乗せて歌う」歌唱方法を学習し、「カリブ 夢の旅」の前半をパート練習する。
- ・めあて：リズムや強弱を意識しながら曲の前半を練習しよう
- ・配布物：ワークシート1（ファイル名：ch3_sheet1）

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
導入 10分	■単元のめあてを確認する。 曲の特徴を生かして表現を工夫しよう 「カリブ 夢の旅」 ■本時の学習のめあてを確認する。 リズムや強弱を意識しながら 曲の前半を練習しよう （「カリブ 夢の旅」前半の範唱を聴かせる） ■表現を工夫させたい部分（練習番号A）の11小節目女声パート）を示し、「気持ちを声に乗せて歌う」ための歌唱方法を確認する。 →デジタル教材の動画視聴 ■個人の学習のめあてをワークシートに記入させる。		★本時の学習めあてを確認する前に、適宜発声練習を実施しておくとい。
50分		・エクササイズ - エクササイズ 2 気持ちを声に乗せてみよう ・P32の練習ポイント①を参照	★タブレット端末（もしくはPC）を大型モニターとつないで提示
展開 30分	■各パートにタブレット端末を配布し、操作説明をする。 ■各パートに分かれて、各自タブレット端末のデジタル教材を使って練習する。	・曲を練習してみよう - 「カリブ 夢の旅」	★教師は机間指導を行うとい ★テンポ調整、ABリピートを使った練習ができることを紹介
まとめ 10分	■「カリブ 夢の旅」前半をクラス全員で合唱する。 ■ワークシートに「パート練習で工夫したこと」「今日の授業の反省や次回への課題」を記入する。		

第三時

- ・学習内容：「フォルテ」の声の出し方について学習し、「カリブ 夢の旅」の後半をパート練習する。
- ・めあて：「フォルテ」の声の出し方を意識して、曲の後半を練習しよう
- ・配布物：ワークシート1（ファイル名：ch3_sheet1）

過程	主な学習活動と教師の働きかけ	デジタル教材	留意点
50分	導入 10分 ■前時の振り返りとして、「カリブ 夢の旅」の前半をクラス全員で合唱する。 ■本時の学習のめあてを確認する。 「フォルテ」の声の出し方を意識して、 曲の後半を練習しよう （「カリブ 夢の旅」後半の範唱を聴かせる） ■「フォルテ」で歌わせたい部分（練習番号Bの1小節目～）を示し、「フォルテ」の声の出し方を確認する。 →デジタル教材の動画視聴 ■動画内容や前回の課題をふまえ、個人の学習のめあてをワークシートに記入させる。	・エクササイズ - エクササイズ 5 <i>f</i>（フォルテ） ・P32の練習ポイント②を参照	★合唱をする前に適宜、発声練習を実施しておくといよい。 ★タブレット端末（もしくはPC）を大型モニターとつないで提示
	展開 30分 ■各パートに分かれて、各自タブレット端末のデジタル教材を使って練習する。	・曲を練習してみよう - 「カリブ 夢の旅」	★教師は机間指導を行うといよい ★テンポ調整、ABリピートを使った練習ができることを紹介
	まとめ 10分 ■クラス全員で「カリブ 夢の旅」を通して合唱する。 ■ワークシートに「パート練習で工夫したこと」「今日の授業の反省や次回への課題」を記入する。		



パッと
なっとく
もっと
ワクワク

「Smart Education System by Yamaha」のWebサイトでは授業づくりに役立つ授業モデルや掛図などの素材を無料でダウンロードできます。ブラウザで動作するデジタル教材の無料体験版もご用意しておりますので、お気軽に授業でお試しいただけます。ぜひご活用ください。

無料の
授業モデルやデジタル素材を
もっと活用
してみませんか？

「Smart Education System by Yamaha」のWebサイトはこちら！

yamaha ses

検索

<https://ses.yamaha.com/>

「Smart Education System by Yamaha」のお役立ちコンテンツ

新型コロナウイルス感染
拡大防止に配慮した
音楽の授業って…？

学校の新しい生活様式における
音楽授業や行事のアイデアは
こちらでご紹介しています。



音楽の指導でお悩みごと
はありませんか？

先生方のお悩み解決の
ヒントはこちらでご紹介
しています。

